

# 生産性向上でコスト削減を目指す設備づくり

株式会社長田工業所



Osada Industry  
株式会社

長田工業所

# 会社概要

会社名：株式会社長田工業所（おさだこうぎょうしょ）

所在地：〒919-0404 福井県坂井市春江町西長田41-1-1

代表取締役：小林 輝之

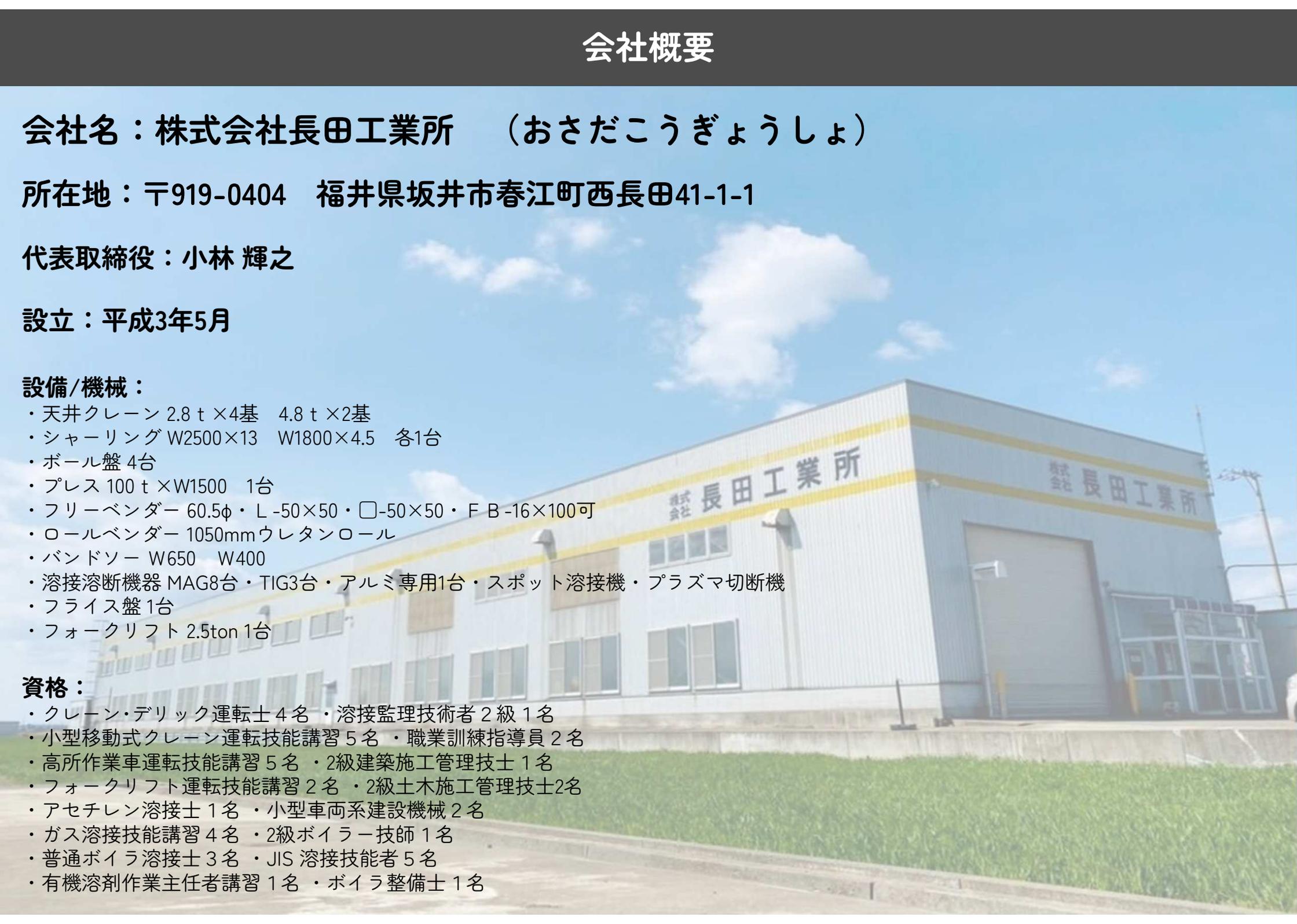
設立：平成3年5月

## 設備/機械：

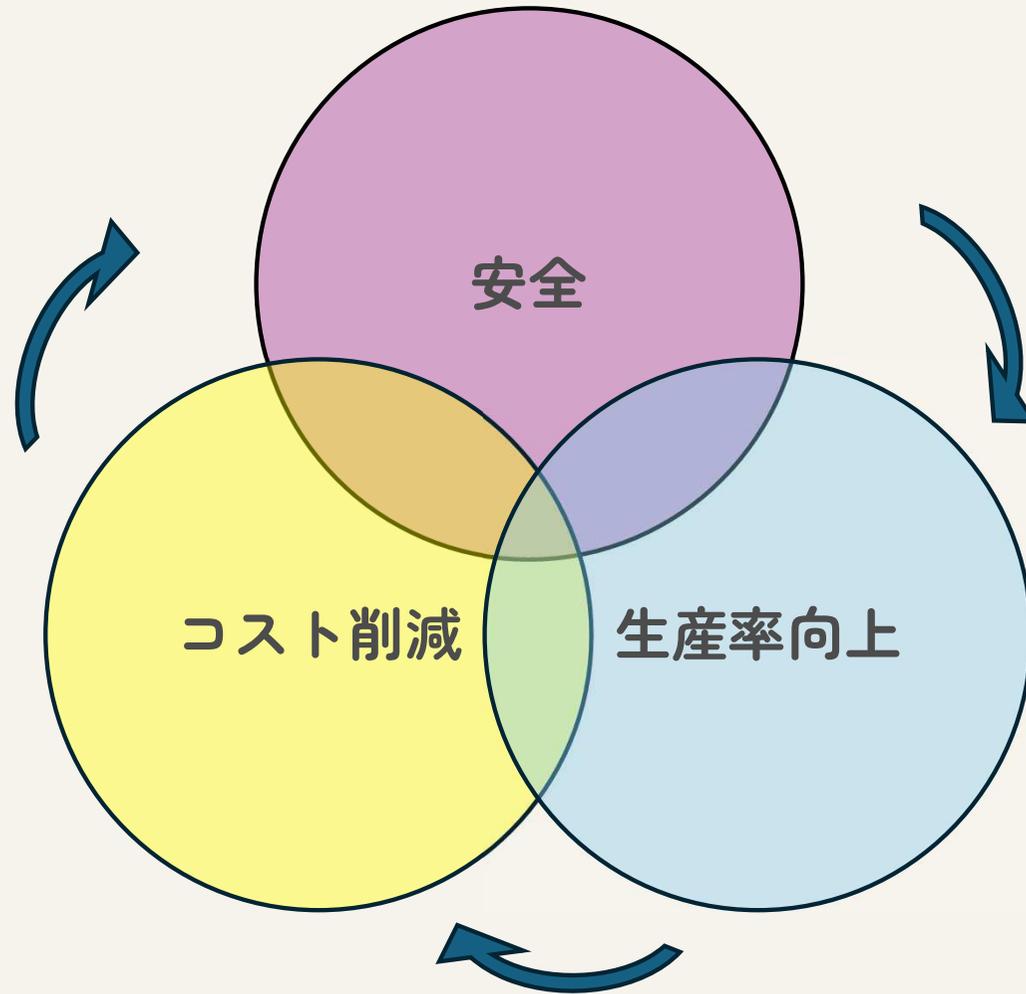
- ・天井クレーン 2.8 t × 4基 4.8 t × 2基
- ・シャーリング W2500×13 W1800×4.5 各1台
- ・ボール盤 4台
- ・プレス 100 t × W1500 1台
- ・フリーベンダー 60.5φ・L-50×50・□-50×50・F B-16×100可
- ・ロールベンダー 1050mmウレタンロール
- ・バンドソー W650 W400
- ・溶接溶断機器 MAG8台・TIG3台・アルミ専用1台・スポット溶接機・プラズマ切断機
- ・フライス盤 1台
- ・フォークリフト 2.5ton 1台

## 資格：

- ・クレーン・デリック運転士 4名 ・溶接監理技術者 2級 1名
- ・小型移動式クレーン運転技能講習 5名 ・職業訓練指導員 2名
- ・高所作業車運転技能講習 5名 ・2級建築施工管理技士 1名
- ・フォークリフト運転技能講習 2名 ・2級土木施工管理技士 2名
- ・アセチレン溶接士 1名 ・小型車両系建設機械 2名
- ・ガス溶接技能講習 4名 ・2級ボイラー技師 1名
- ・普通ボイラ溶接士 3名 ・JIS 溶接技能者 5名
- ・有機溶剤作業主任者講習 1名 ・ボイラ整備士 1名



# 生産率向上と安全を両立するカイゼン工事



長田工業所のカイゼン工事では、工場やプラント設備で作業をしている作業員の安全を守る設備を製作・設置するだけでなく、生産率向上やコスト削減にむけた設備の製作・設置もしています。

# このようなお悩みはありませんか？

CASE  
1



CASE  
2



CASE  
3



ロボットやフォークリフトなどの可動範囲と従業員の作業区域が分かれていないので、危険な労働環境になっている。

作業場所が少し高いところにあり、作業中に従業員が落下してしまう恐れがある。

加工ラインや在庫置き場などの区画が決まっていないため、作業効率が上がらない。

上記のお悩みを解決させていただきます。  
事例を次のページにてご紹介させていただきます

在庫保管スペース確保と 移動時間短縮でコストダウン！！

## 今回のお客様の基本情報】

企業名：酒井化学工業株式会社

設立：1963年

代表取締役：酒井 清章 様

資本金： 9,750万円

従業員数： 663名

主な事業内容： 産業用プラスチック資材の製造及び販売(包装、建築土木、雑貨)

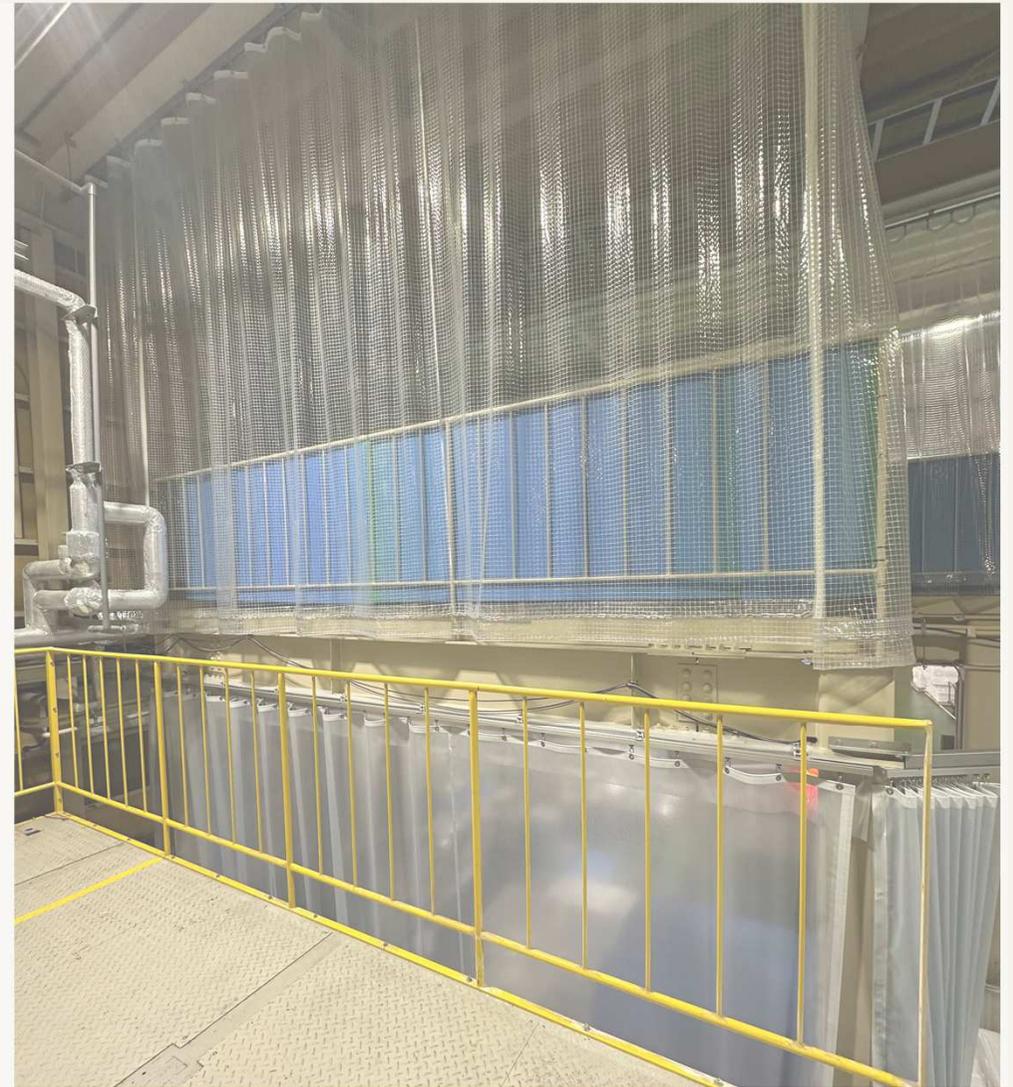


# お困りごと ①:フロア下のデッドスペース



フロア下に材料を2段済みにして収納したいが、材料の大きさとフロアの高さの都合で2段済みができず、結局デッドスペースになってしまう。積みきれなかった材料はフロア外に置き 通路の妨げになる

# お困りごと ②:1階を経由して次のフロアへ



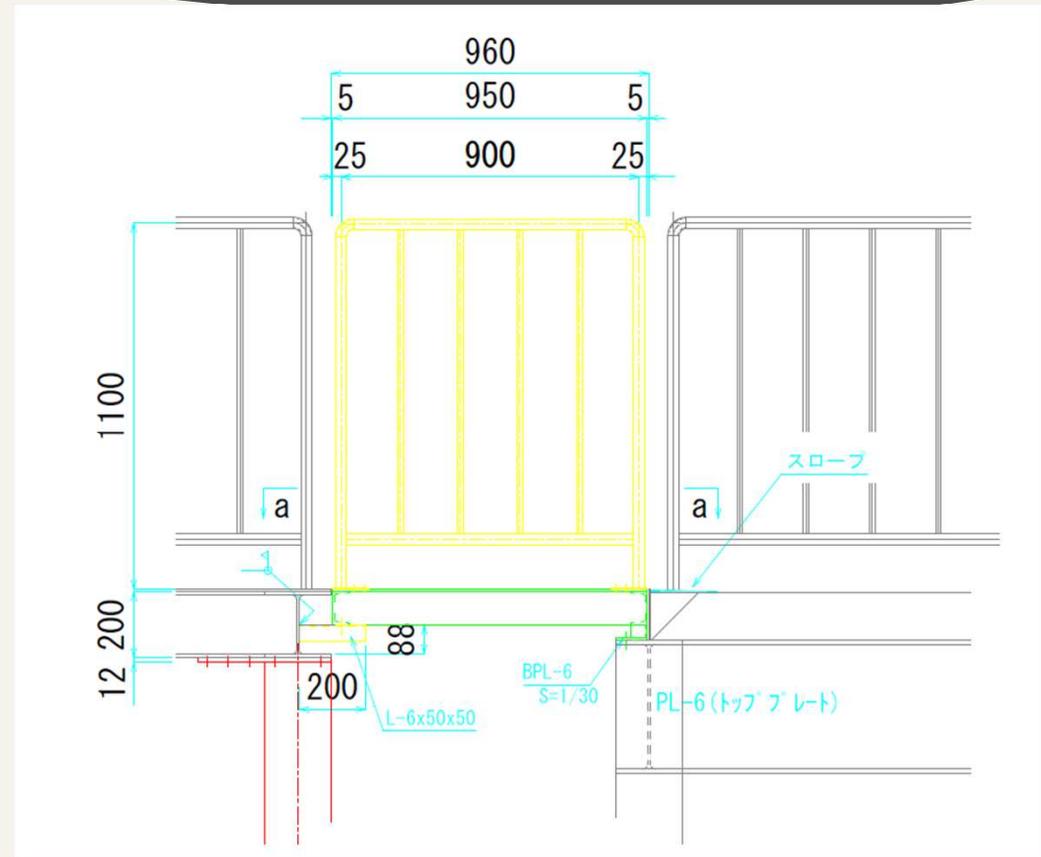
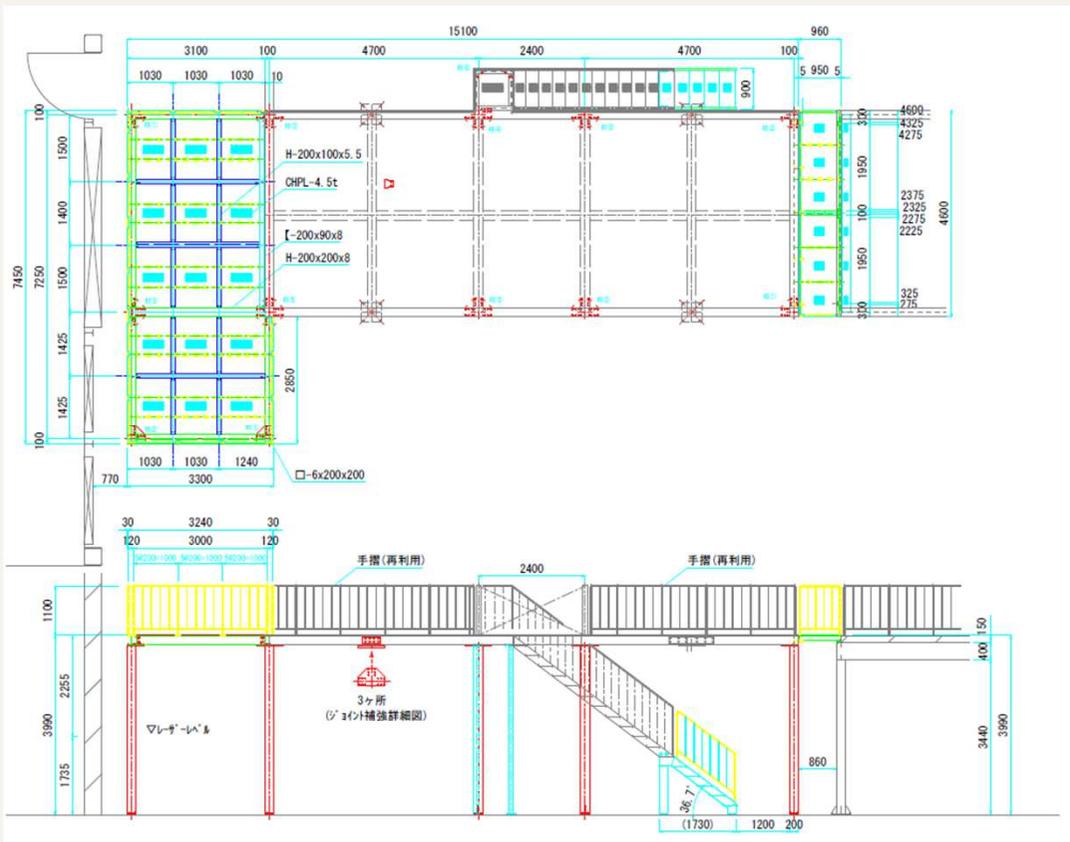
フロアそれぞれ違う高さで独立しているため隣のフロアに行く際は1階を経由して隣フロアへ移動しなければならない。その距離30m。荷物や材料を運ぶ際はかなりの労力を使う。

# 解決フロー①:FAROスキャンして現場を調査



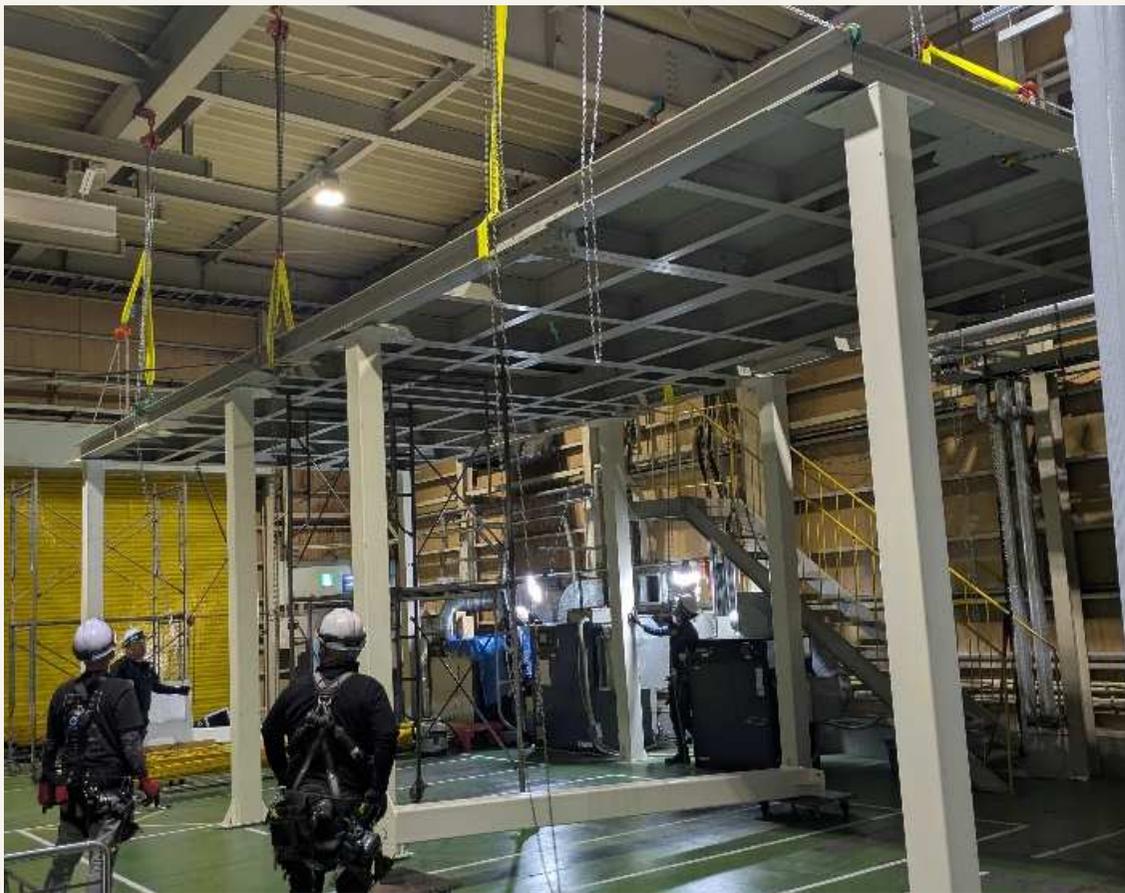
ご契約後に改めて日程調整して1週間後、3D空間スキャナーを使用してスタッフの方々の作業を止めないで現場調査をして詳細な寸法や角度、位置関係を3D点群データにして弊社に持ち帰りました。

# 解決フロー②:分析データを基に設計・提案



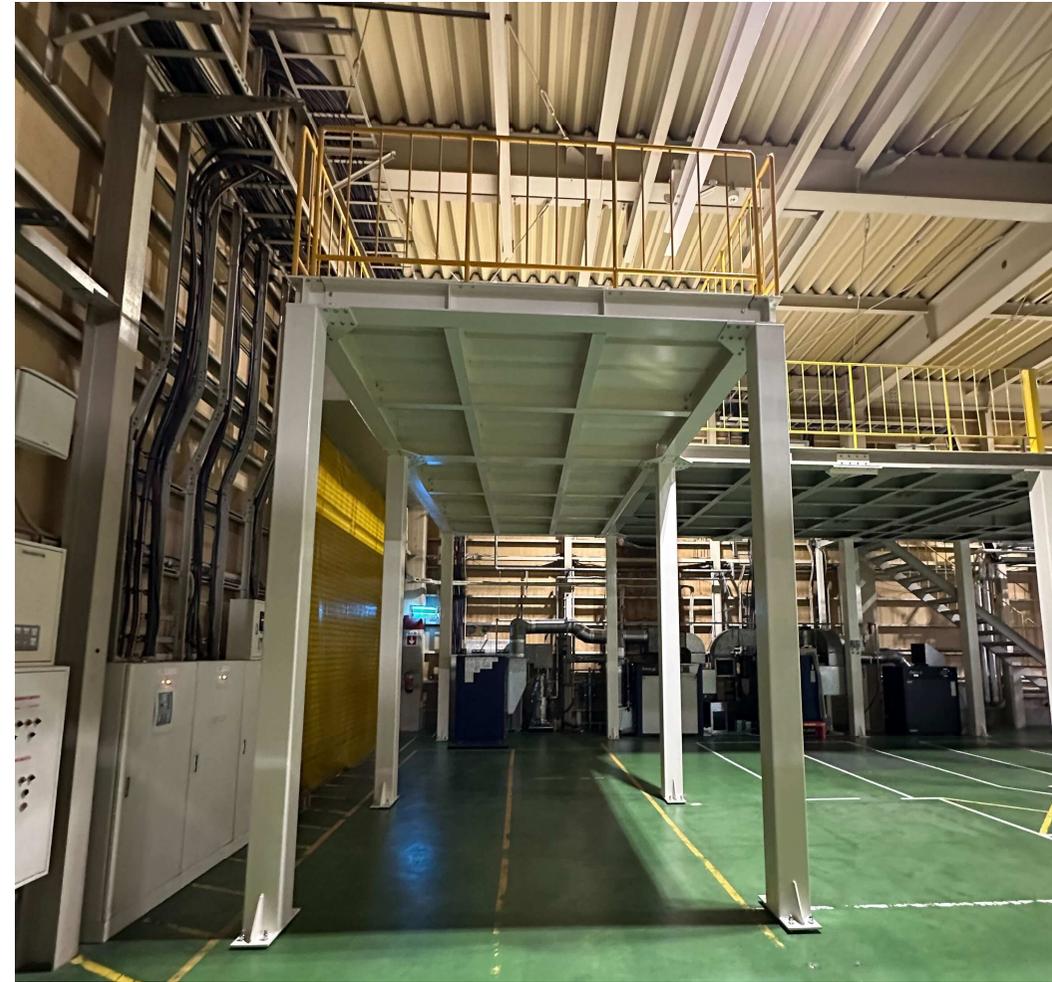
FARO( 3Dスキャナー ) を使用し 専用ソフトで分析したデータを基に設計図を作成し 提案。  
提案①:フロアの高さを既存ものに合わせるために支柱を交換する。  
提案②:新たにフロアを拡張しスペースを増やす。

## 解決フロー③:製作・設置工事へ



4日間で正式図面が完成し、お客様へ承認いただくこと2週間後、工場製作にとりかかりました。工場製作に1週間、現場設置に4日間かかり、現場承認をいただいて納品しました。

# フロア下の収納スペースが拡張



柱の高さを上げることでフロア下に材料を二段置きすることが可能になり収納スペースが増えました。

# フロアを高くして隣フロアへの移動の負担を軽減



既存の柱よりも高い柱に入れ替えることにより一階を経由して移動していた負担を軽減しました。施工前は移動距離30mあったのが施工後10mにすることができました。

# フロアも拡張し収納スペースだけでなく作業スペースも確保



フロアも拡張することにより材料が置いてあることで窮屈だった収納場所が広くなり作業スペースも確保できるようになりました。

# 酒井化学工業(株) 製造グループ グループリーダー 大島様への工事完了後ヒアリング

## Q) 工事をして率直な感想は? どのような喜びの声がありましたか?

A) 現場でも迅速に対応していただきとても助かりました。作業員の方々からは、「取り回しがしやすくなった」「スペースが広がって作業が楽になった」といった声が上がっています。もともと正方形だった柱の土台を、長方形に変更しています。これは、構造的にも取り回しがしやすくなる重要なポイントでした。



材料の取り出しをスムーズに行えるようにベース部分を長方形に



## Q) フロアの面積を増やしたことにより収納面積が増えただけでなくどんな利点がありましたか? また従来はどんな苦勞がありましたか?

A) 安全性の向上にもつながったと思います。以前は狭い場所で作業していたため、危険も伴っていました。それが解消され安全に広いところでの作業が可能になりました。とくに繁忙期に差し掛かったとき、仕掛かり品が非常に多く、通路も埋まってしまっていて人の通行が難しくなっている状況が多々ありました。また、別フロアに移動するのに移動距離が30mもあり、これまでだと1度階下に降りてまた別の階段から上がる必要がありました。

# 酒井化学工業(株) 製造グループ グループリーダー 大島様への工事完了後ヒアリング

**Q) 隣の建屋にそれぞれ独立したフロアがありましたがそれを連結することによってどんな利点がありましたか？またどれくらいのコスト削減につながりましたか？**

A) 移動制限がなくなりました。以前は、1日平均で5回以上の移動があったと思います。もちろん日によって変動はありますが、作業者によっては目的に応じて頻繁に行き来していたため、相当な移動距離が発生していました。具体的には、片道30メートルほどの移動が必要で、それを1回につき約200kg分の物を手で運んでいたため、10個の荷物を運ぶだけでも非常に時間と労力がかかっていました。リフトで下ろすなど工夫はしていましたが、それでも1時間近くを要する作業だったのです。現在では、物の上げ下ろしが同じフロア内で完結できるようになり、移動距離も10メートル程度に短縮されました。作業時間も半分程度で済むようになり、作業スペースの余裕も生まれ、人件費削減にもつながりました。

**Q)最後になぜ長田工業所に頼もうと思われましたか？**

A)本件に関しては社長の推薦があったからです。実際は、他にも多くの業者を検討されたようですが、最終的に選んでいただいた理由としては「今まで使ったことがなかったが、信頼できそうだった」「他社に比べて説明が丁寧で対応が親切」だったからです。私も初めて設備関係の工事の担当を任されて最初は不安がありましたが、実際にはとても親身に対応してくれて親しみやすく話しやすかったという印象を受けました。

# 工事前と工事後のコスト削減比較

## 工事前 運搬作業

1日 5回×2人×1時間 = 10時間

週 5回×2人×1時間×5日 = 50時間



## 工事後運搬作業

1日 2回×2人×0.5時間 = 2時間

週 2回×2人×0.5時間×5日 = 10時間

## 工事前-工事後

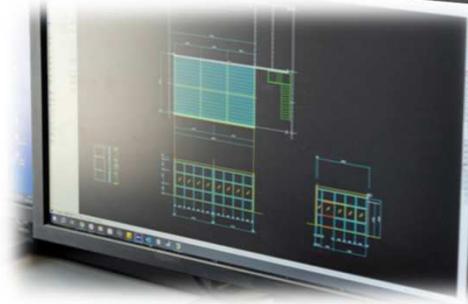
10時間/日 - 2時間/日 = 8時間/日 の削減

50時間/週 - 10時間/週 = 40時間/週の削減

例:1時間のスタッフコストを1800円と設定すると  
1800円/時間×8時間=14,400円/日

14,400円/日 × 240日 = 3,456,000円/年の年間コスト削減

# お問い合わせのながれ



※必要に応じて3Dスキャンを使用する場合があります



長田工業所では設計から設置までを一貫して行っています。

ご不明な点はいつでもご相談ください



**0776-72-1262**

営業時間:8:00~17:15/ 土日・祝・年末年始休



[osada01@chic.ocn.ne.jp](mailto:osada01@chic.ocn.ne.jp)

**工場見学も受付中!**



長田工業所では工場見学も随時受付中  
主に福利厚生や5S活動の取り組みをご覧いただけます。  
また、5Sセミナーの開催もごさいます